

新型コロナウイルス (COVID-19)

ロサンゼルス郡公衆衛生局 有権者、選挙関係者、および選挙作業員向けガイダンス

最新の更新：

8/21/20: 基礎疾患を持っている方は、選挙作業員になる前に医療従事者に相談するか、今年この役割を果たすことを控えてください。

カリフォルニア州法案 AB 860 は、各郡が 2020 年 11 月 3 日の選挙に使用される郵便投票用紙を登録済みの有権者全員に確実に提供する目的で制定されました。これは有権者の健康と福利を維持するための重要なステップです。対面式投票のみの選挙では、大勢の人が集まり待ち時間が長くなる可能性があるため、COVID-19 が蔓延するリスクが高くなります。郵便投票による投票は、選挙日の 29 日前から開始され、2020 年 11 月 3 日に受領または消印の押された郵便投票用紙はすべてカウントされます。

人によっては、直接投票が望ましい場合があることに留意してください。ロサンゼルス郡の公認記録係/郡書記 (RR/CC) の事務局では、対面式投票の安全性とアクセス性を高めるために、投票日の拡大 (選挙日の前日までの追加の投票日) および各人が任意の投票所で投票できるようにすることを含めた複数の対策を講じています。詳細については、投票に関する [RR/CC の投票に関するウェブサイト](#) をご覧ください。

以下のガイダンスは、投票プロセス中に健康を維持し、COVID-19 の拡散を遅延させるために、有権者、選挙関係者、および選挙作業員が考慮すべき重要な情報を提供します。

有権者向け

- COVID-19 の症状がある場合、または過去 14 日以内に COVID-19 に曝露したために検疫中の場合は、自宅待機する。
 - 投票用紙に投票日またはそれ以前の日付の消印が押されている限り、郵便による投票が可能である。
 - 直接投票する予定であったが、投票日に病気になった場合は、別のオプションについて公認記録係事務局に問い合わせる。
- 投票所への入場前および退場後に手指の消毒を行う。
 - 投票所にいる間は、特にドアノブや投票機など、複数の人が頻繁に触れる物の面に触れた後は、アルコール濃度 60% 以上の手指消毒剤を使用する。
- 投票所にいる間、または投票所の外で列を作って待機している間は、常時、布製フェイスカバーを着用する。2 歳未満のお子様、および呼吸困難のある方、意識が明白でない方、または援助なしに自身でフェイスカバーを取り外せない方は、布製フェイスカバーを着用しない。
- 他者から少なくとも 6 フィートの距離を保つ。自身や他者が布製フェイスカバーを着用している場合でも、物理的距離を確保することは重要である。
- 人混みを避け、他者との接触を最小限にする代替案を検討する。郵便投票と早期投票については、[RR/CC の投票に関するウェブサイト](#) を確認してください。
 - 午前中などのオフピーク時に投票する。
 - 投票所まで車で赴き、スケジュールが許す場合は、車内から投票者の列を監視して投票者の列が短い時に投票に行く。

新型コロナウイルス (COVID-19)

ロサンゼルス郡公衆衛生局 有権者、選挙関係者、および選挙作業員向けガイダンス

- 電子投票機は洗剤や消毒剤によって損傷を受ける可能性があるため、自分で投票機を消毒したり、拭いたりしない。投票機に触れる前に手指消毒剤を使用する場合は、機器の損傷を防ぐために手を完全に乾かす。（投票用紙を取り扱う前も、手が完全に乾いていることを確認する。）投票機を使用した後は、アルコールベースの手指消毒剤を使用する。
- 投票所で過ごす時間を最小限にできるように準備する。これには**有権者登録**情報を事前に確認する、自宅で用紙、または**インタラクティブなサンプル投票用紙に記入して、それを持参する**というようなことが含まれる。

選挙役員および選挙作業員向け

作業員を保護するための対策:

- 従業員が投票所に入る前に**症状の確認**を行う。症状の確認では咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気の有無、さらに14日間以内にCOVID-19感染者と接触したかどうかを確認する。これらの検査は従業員の出勤時に直接、又は遠隔操作で行う。可能な場合は投票所での検温も行う。
- 選挙作業員は、病気の場合、COVID-19検査で陽性と判定された場合、またはCOVID-19感染者と濃厚接触した場合、自宅待機を行い、提示されている隔離と検疫に関する指示事項に準拠する。必ず公認記録係事務局に連絡し、選挙作業員の採用担当者に欠席を通知する。
- **基礎疾患を持っている方は、選挙作業員の役割を果たせるかどうか医療従事者に相談するか、今年は作業員にならないよう考慮する。**
- 投票所に、自宅待機の必要のある病気の作業員を補填するのに十分なスタッフがいることを確認する。
- 選挙作業員に、石鹼と水で少なくとも20秒間、または手指消毒剤で頻繁に手を洗淨するように促す（投票所に入る前、休憩やシフトの前後、布製フェイスマスクや手袋のような個人用防護具（PPE）に触れたり、扱った後、トイレの使用後、共有する物の表面または物に触れた後など）。
- エリア内に他者がいる就業時間中は、すべての作業員が布製フェイスマスクを常時使用する。医療従事者からフェイスマスクを着用しないように指示されている作業員は、状況が許す限り、下端にドレープが付いたフェイスシールドを使用する。ドレープはあごの下にぴったりフィットするものが好ましい。一方向弁付きのマスクは使用しない。
- 健康的な衛生行動をサポートするための十分な備品を確保する。備品には、石鹼、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤（供給が許す場合は、すべてのステーションに配置する）、ペーパータオル、ティッシュ、消毒用ワイプ、ノータッチ式ゴミ箱が含まれる。
- 透明プラスチック製（プレキシ素材）のシールドなどの物理的仕切りを使用して、登録デスクや投票所などで物理的距離を維持できない場合に、作業員や有権者を保護する。
- 不要な来場者を制限する。選挙作業員と有権者は、同伴者（家族、友人など）を投票者に連れて行くことは控える。

感染管理対策:

- 有権者は、投票所にいる間は常時布製フェイスマスクを着用する。
- 布製フェイスマスクは、耳の不自由な方が、唇を読んだり、聞いたり、人が話す内容を理解することをより困難にする可能性があるため、コミュニケーションは書面によるコミュニケーション、掲示に

新型コロナウイルス (COVID-19)

ロサンゼルス郡公衆衛生局 有権者、選挙関係者、および選挙作業員向けガイダンス

よる情報/指示、およびバックグラウンドノイズを低減することでサポートする。唇の読み取りは、透明なフェイスカバー、フェイスシールド、または透明プラスチック製（プレキシ素材）の仕切りを使用することによりサポートすることができる。適用される法律に準拠して、選挙役員は障害のある方々が投票にアクセスできるようにするために、透明なフェイスカバーなどの物資を用意することを検討する。

- 選挙作業員とのやり取り、投票機の使用後などの投票プロセスの各段階、および投票プロセスの最終段階に、有権者が使用できるように、アルコール濃度 60%以上の手指消毒剤を提供する。アルコールベースの手指消毒剤を、登録デスク、「I Voted」のステッカーが配布場所、出口などの頻繁に使用される目に見える場所に配置する。
- ドアノブ、登録テーブル、ペン、クリップボードなど、複数の人が頻繁に触れる物の表面は、[EPA 承認の新型コロナウイルス性病原体](#)用の製品を使用して頻繁に消毒する。
- 公衆トイレが投票所内にある場合は、それらを定期的に清掃および消毒する。
- 投票所が閉場された後、選挙作業員または有権者が使用するすべてのテーブル、椅子、ドアノブ、トイレを含むすべての施設エリアとアイテムを清掃および消毒する。施設は、追加の予防措置を講じることなくすぐに通常の使用に戻ることができる。すべての機器および輸送ケースも、選挙事務所に配送する前に、製造元の指示に従って洗浄および消毒する。
- 投票機、ePollbook、およびその他の再利用可能なアイテムは、定期的に消毒する。投票機および関連する電子機器の適切な洗浄および消毒手順については、機器メーカーの指示に従う。
 - 機器の損傷を防ぐため、投票機の近くに標識を掲示して、有権者が持参したワイプで機器を消毒したり、手指消毒剤で濡れたままの手で機器に触れたりしないように通告する。
 - 電子機器用の拭き取り可能なカバーの使用を検討する。
 - 製造元のガイダンスがない場合は、投票機のボタンとタッチスクリーンをアルコール濃度 60%以上のワイプまたはスプレーでクリーニングすることを検討する。液体がたまらないように、表面を完全に乾かす。
- 可能な場合は、共有するオブジェクトを使い捨てオブジェクトに置き換える。ペン、再利用可能な投票アクティベーションカード、または投票秘密スリーブなどの共有するオブジェクトは選挙作業員に渡す代わりにコンテナに入れ、共有オブジェクトの取り扱いを減らす。これらのオブジェクトは、再利用する前に洗浄する。
- 障害のある有権者用のヘッドフォンは、有権者が持参するか、投票所から提供された場合はユーザーが使用することに消毒する。
- 投票所を特別養護老人ホーム、介護施設、高齢者の住居から移動し、潜在的な COVID-19 への曝露から高齢者や基礎疾患を抱えている人々を保護する。
- 学校に設置された投票所は、選挙の目的で使用されていない、および/または生徒、教師、スタッフが使用している施設の任意の場所に選挙作業員と有権者が入る必要性を最小限に抑えるために入口と出口を別々にする。換気システムが適切に作動していることを確認し、窓やドアを開くなどして、外気の循環を可能な限り増やす。安全や健康上のリスクがある場合は、窓やドアを開けない。
- 可能であれば、症状のある有権者、病気または COVID-19 陽性が判明している有権者に代替投票オプションを提供することを検討する。代替投票オプションは、選挙作業員と有権者の間の接触を最小限に抑えるものである必要がある。症状のある有権者をサポートする選挙作業員には、呼吸保護具、フェイスシールド、ガウン、手袋などの個人用防護具（PPE）を用意し、これらの用具の適切な使用方法についての訓練を行う。

新型コロナウイルス (COVID-19)

ロサンゼルス郡公衆衛生局 有権者、選挙関係者、および選挙作業員向けガイダンス

- 郵便投票用紙を取り扱う作業員は、頻繁に手指衛生を実践する。
 - 郵便投票用紙を処理するために使用される機械は、定期的に清掃および消毒する。投票機および関連する電子機器の適切な洗浄および消毒手順については、[機器の製造元の指示](#)に従う。
 - 投票用紙は追加の予防措置なしで通常どおり保管することができる。
- 本人確認のために有権者のフェイスマスクを取り外す必要がある場合は、アルコール濃度 60% 以上の手指消毒剤をステーションに用意して、有権者がフェイスマスクを外した後に手を消毒できるようにする。有権者と選挙作業員間のプラスチック製の仕切りは、追加の保護を提供することができる。フェイスマスクの適切な取り外しと取り扱いに関する指示を示す標識を掲示する。

物理的距離

- 有権者の到着時に、自身と他者の間に 6 フィートの間隔を確保するように注意を促す。投票所は、有権者と作業員に物理的距離の確保を促すために、標識、または床へのマーキング、デカール、またはチョークマークなどの他の視覚的な目印を用いる。
- 選挙作業員と一般市民間の距離 6 フィートを確保できない場合は、市民と選挙作業員間に物理的またはプレキシガラスの仕切りを配置する。
- 少なくとも 6 フィートの社会的距離を維持できるように、列を管理するスタッフを配置する。
- 渋滞を回避するために、入口と出口に明確な印をつける。
- 有権者や作業員は物理的な接触（例：握手）による他者への挨拶を行わない。この内容を社会的距離に関する標識の中に含める。
- 社会的距離を確保する能力を向上させるために、選挙日に市民が利用できる投票所の総数を維持または増やす。
- 列をできるだけ最小限に抑え、狭い屋内スペースで列を密集させない。床へのマーキングまたは目印、および標識を使用して、投票者に列に並んでいる間は社会的距離を維持するように注意を促す。
- 屋外に列を移動するか、可能な場合は有権者に車の中で待機させることにより、施設内の有権者の数を制限して、6 フィートの距離を確保できるようにする。投票ブース間の間隔を広げて、有権者間の距離 6 フィートを確保できるようにする。
- 社会的距離やその他の措置のための十分なスペースを確保するために、投票所として使用するためのより大きな施設を特定する。
- 投票所のレイアウトを変更して、投票場所では有権者が一方通行で移動できるようにし、1 つのドアから出入りするといった渋滞を回避する。
- 選挙人名簿や身分証明書などの確認を要するアイテムは、取り扱いを最小限にするためにテーブルの上に置く。
- 運営に変更を加えても、障害を持つ有権者のアクセスが制限されないようにする。
- 可能であれば、有権者のドライブスルー投票を検討する。
- 投票所（図書館、学校など）は、有権者を他の施設の利用者から分離できるようにする必要がある。たとえば、選挙作業員や有権者は、他の施設の利用者とは別の指定された入口、出口、およびトイレを使用する。

標識とメッセージ

新型コロナウイルス (COVID-19)

ロサンゼルス郡公衆衛生局 有権者、選挙関係者、および選挙作業員向けガイダンス

- 標識を目立つ場所（入口、トイレなど）に掲示し、日常の保護対策を促進し、適切な手洗い、布製フェイスカバーの適切な着用によるウイルスの蔓延を防ぐ方法を説明する。
- 有権者とのコミュニケーション（ウェブサイト、動画、電子メール、ソーシャルメディアなど）を取る際に、COVID-19 の拡散を防ぐ行動に関するメッセージを含める。
- 適用される法律に準拠する範囲で、障害を持つ有権者がすべての標識やメッセージにアクセスできるようにする。たとえば、活字版や点字版を大きくしたり、同じ情報を含む音声メッセージを用意するなどする。
- 接触を最小限に抑えるために利用可能な代替投票オプションを含む、投票運営の変更を有権者に通知する。
- 投票日に対面式による投票を計画している有権者に、オフピーク時に来場するよう奨励する。たとえば、有権者の来場数が午前中の半ばに少ない場合は、事前にコミュニティに宣伝する。
- 標識を掲示し、症状のある方には投票所の建物に入らないよう通告し、症状のある方向けの投票のオプションを提供する。